



講演 2

山形県における有機栽培の現状と今後の展開

山形県農林水産部 農業技術環境課 生産環境専門員 中川 文彦

山形県における有機農業の取組経過

- 山形県では、昭和40年代後半から有機農業の取組みが始まり、消費者と直結する形で拡大してきた。
- かつて有機農業は、個人や生産者グループ個々の取組みが多かったが、平成19年に設立された『山形県有機農業者協議会』を中心に、生産者同士の技術交流や消費者との交流活動が行われるようになり、近年では生産者や組織間のネットワークが形成されている。
- 県では、平成元年頃から技術開発に着手し、農業試験場 有機農業技術開発研究室（平成7～12年）や農業総合研究センター 食の安全環境部（現在）において、化学肥料や化学合成農薬に頼らない環境にやさしい技術の開発を進めてきた。
- 平成17年以降「全県エコエリア構想*」のもと、環境保全型農業を‘点から面’に拡大する取組みを展開している。

*：有機性資源を活用した土づくりを行いながら、化学肥料や化学合成農薬を2、3割以上減らした農産物の生産に県内すべての地域で取り組む構想

山形県における有機農業推進の施策

有機農業の推進に関する法律



有機農業の推進に関する基本的な方針

やまがた創生総合戦略

～「自然と文明が調和した理想郷山形」を目指して～

山形県農林水産業振興計画

全県エコエリア構想
(環境保全型農業の推進)

農林水産業元気再生戦略(第3次)
・有機農産物生産拡大・ブランド化PJ

連動

山形県有機農業推進計画

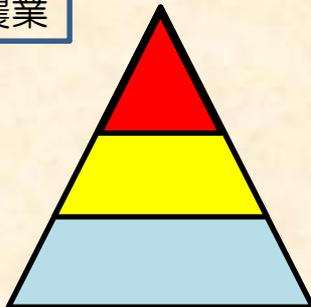
やまがたエコエリアやまがた農業推進プラン
・有機農業の拡大と定着

環境保全型農業

有機農業

特別栽培

エコファーマー



有機農業は、特別栽培
やエコファーマー等の
環境保全型農業を牽引
する取組み

有機農業の推進

山形県における有機農業の取り組み

環境保全型農業直接支援対策の有機農業の取組状況(H28) (ha)

道県名	北海道	福井県	熊本県	岩手県	山形県	秋田県	全国
ほ場面積	1,962	1,549	810	804	713	640	14,427

備考:農林水産省調べ

有機JAS圃場の面積(H28) (ha)

道県名	北海道	鹿児島県	熊本県	秋田県	・・・	⑩山形県	全国
ほ場面積	2,450	599	579	514	・・・	285	9,956

備考:農林水産省調べ

県別有機JAS認定農家戸数(H28)

都道府県名	北海道	鹿児島県	熊本県	新潟県	山形県	静岡県
農家戸数(戸)	271	259	203	190	153	140

備考:農林水産省調べ

都道府県別有機JAS水田面積

順位	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	都道府県	(ha)	都道府県	(ha)	都道府県	(ha)	都道府県	(ha)
	全国	3,098	全国	2,961	全国	2,863	全国	2,825
1	秋田県	472	秋田県	369	秋田県	389	秋田県	391
2	宮城県	345	宮城県	328	宮城県	325	新潟県	283
3	石川県	305	新潟県	320	新潟県	286	宮城県	280
4	山形県	304	山形県	270	山形県	249	山形県	262
5	新潟県	256	石川県	227	熊本県	203	熊本県	195

備考:農林水産省調べ

都道府県別有機JAS水田面積割合

順位	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	都道府県	(%)	都道府県	(%)	都道府県	(%)	都道府県	(%)
	全国	0.124	全国	0.120	全国	0.118	全国	0.115
1	石川県	0.851	石川県	0.634	沖縄県	0.358	沖縄県	0.352
2	沖縄県	0.376	宮城県	0.316	宮城県	0.307	秋田県	0.300
3	秋田県	0.361	秋田県	0.282	熊本県	0.300	滋賀県	0.285
4	宮城県	0.332	山形県	0.281	秋田県	0.299	熊本県	0.277
5	山形県	0.315	熊本県	0.233	山形県	0.264	山形県	0.272

備考:農林水産省資料をもとに算出

山形県における有機農業の現状と課題

○目標

有機農産物の「生産拡大」とともに「消費者の評価向上」を図り、産地としての『ブランド化』を確立する。

有機農業の取組面積
H32：990ha
(H27：696ha)

○現状

- 本県の有機農業の9割が水稲である。
- 労働強度が高く、規模拡大が困難である。
- 新たに取り組む農業し者には技術的なハードルが高い。
- 新たに取り組む農業者に対する地域内でのサポート体制がない。
- 有機農業に関する情報が少なく、消費者等の理解が進んでいない。
- 販売先が固定化している場合が多い。

○課題

技術開発

- 野菜
栽培技術開発と体系化
- 水稲
規模拡大に対応した栽培技術開発と体系化

生産拡大

- 人材育成
新たに取り組む農業者に対する地域段階でのサポート体制の構築
- 面積
 - ・安定生産技術の普及
 - ・小規模農家等の生産体制整備への支援
 - ・取組農家への直接支援

情報発信

- 販売
 - ・実需者等とのマッチング支援
 - ・消費者への積極的な情報発信
- 評価
消費者理解の向上

山形県における有機農業の課題と具体的な取組み ①

○課題

技術
開発

○野菜

栽培技術開発と体系化

○水稲

規模拡大に対応した栽培技術開発と体系化

○取組み

野菜の多品目における安定生産

- 基本技術開発：さといも、しょうが、ばれいしょ、にんじん、たまねぎ、かぼちゃ、ほうれんそう等
- 現地実証試験：えだまめ、ねぎ ※技術の体系化

水稲の省力低コスト栽培

- 乗用機械除草技術
(現地大規模実証)
- 経営モデル指標作成
(県内の事例調査)
- 「水稲有機栽培の手引き」の充実



野菜の有機栽培技術開発



乗用機械除草機の現地実証

山形県における有機農業の課題と具体的な取組み ②

○課題

生産
拡大

○人材育成

新たに取り組む農業者に対する地域段階でのサポート体制の構築

○面積

- 安定生産技術の普及
- 小規模農家等の生産体制整備への支援
- 取組農家への直接支援

○取組み

有機農業に取り組む生産者の拡大と定着

- 「やまがた有機農業の匠」認定
技術・経営等の指導・助言（地域サポート）
- 有機農業専用窓口の設置
9か所／県内（農業技術環境課、農業技術普及課）



「やまがた有機農業の匠」認定証交付式

有機農業の取組面積の拡大と定着

- オープンフィールドの設置（県内8か所）
- 「水稻有機栽培の手引き」配布
- 元気な農業経営応援PJ事業（小規模農家対象）
- 環境保全型農業直接支払交付金「有機農業の取組」を支援



オープンフィールド 7

山形県における有機農業の課題と具体的な取組み ③

○課題

情報発信

○販売

- ・実需者等とのマッチング支援
- ・消費者への積極的な情報発信

○評価

消費者理解の向上

○取組み

首都圏等での販路拡大

- ・マッチングイベント「国際オーガニックEXPO」に山形県として出展（8/24-26：横浜市）
- ・消費者等を対象とした有機農産物の求評会の開催



有機農産物の求評会

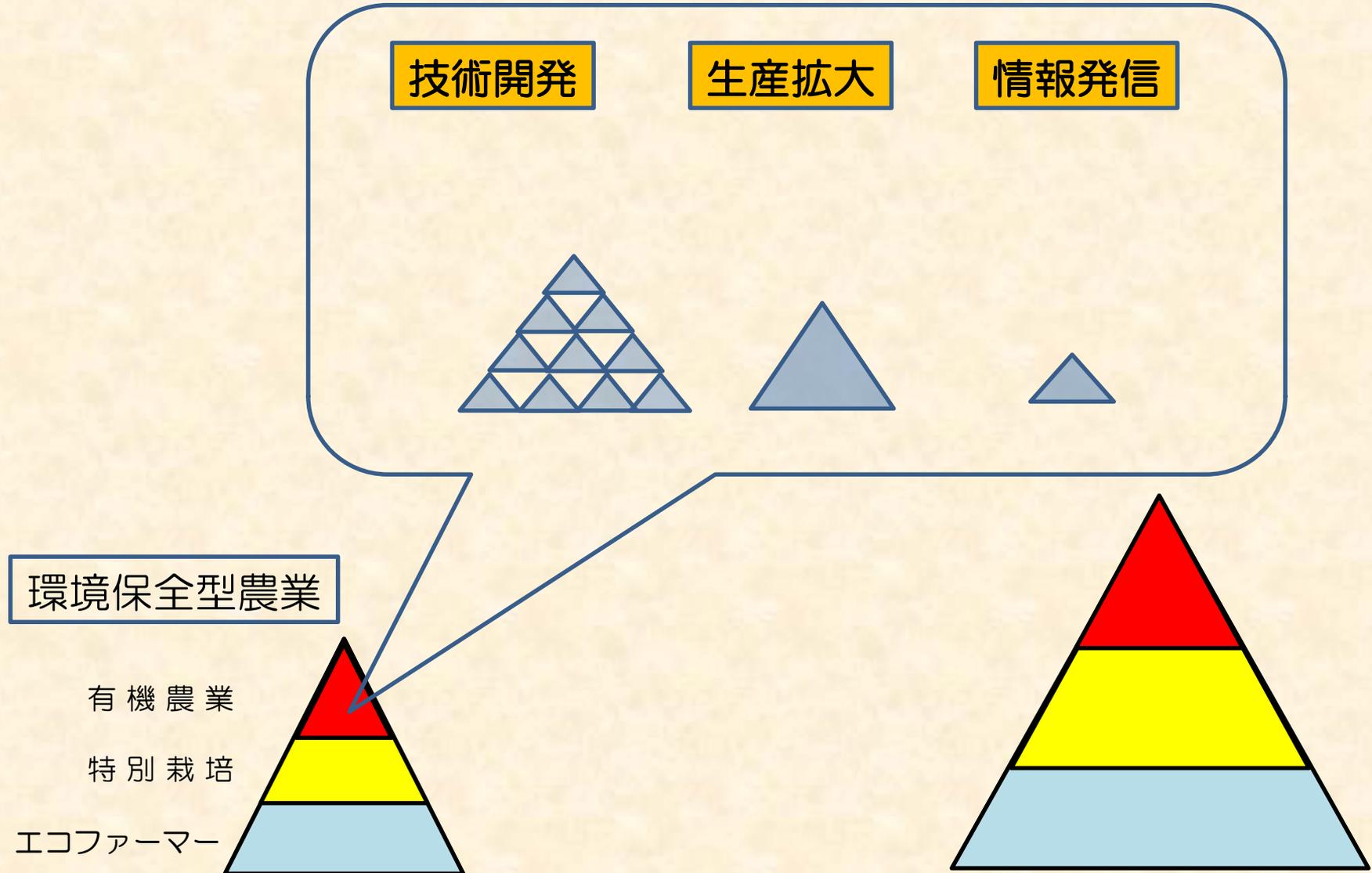
有機農業への理解向上

- ・消費者交流イベント「オーガニックフェスタ」の開催（来場者 3,500名/日）
- ・環境保全型農業専用サイト「山形eco農家」による情報発信

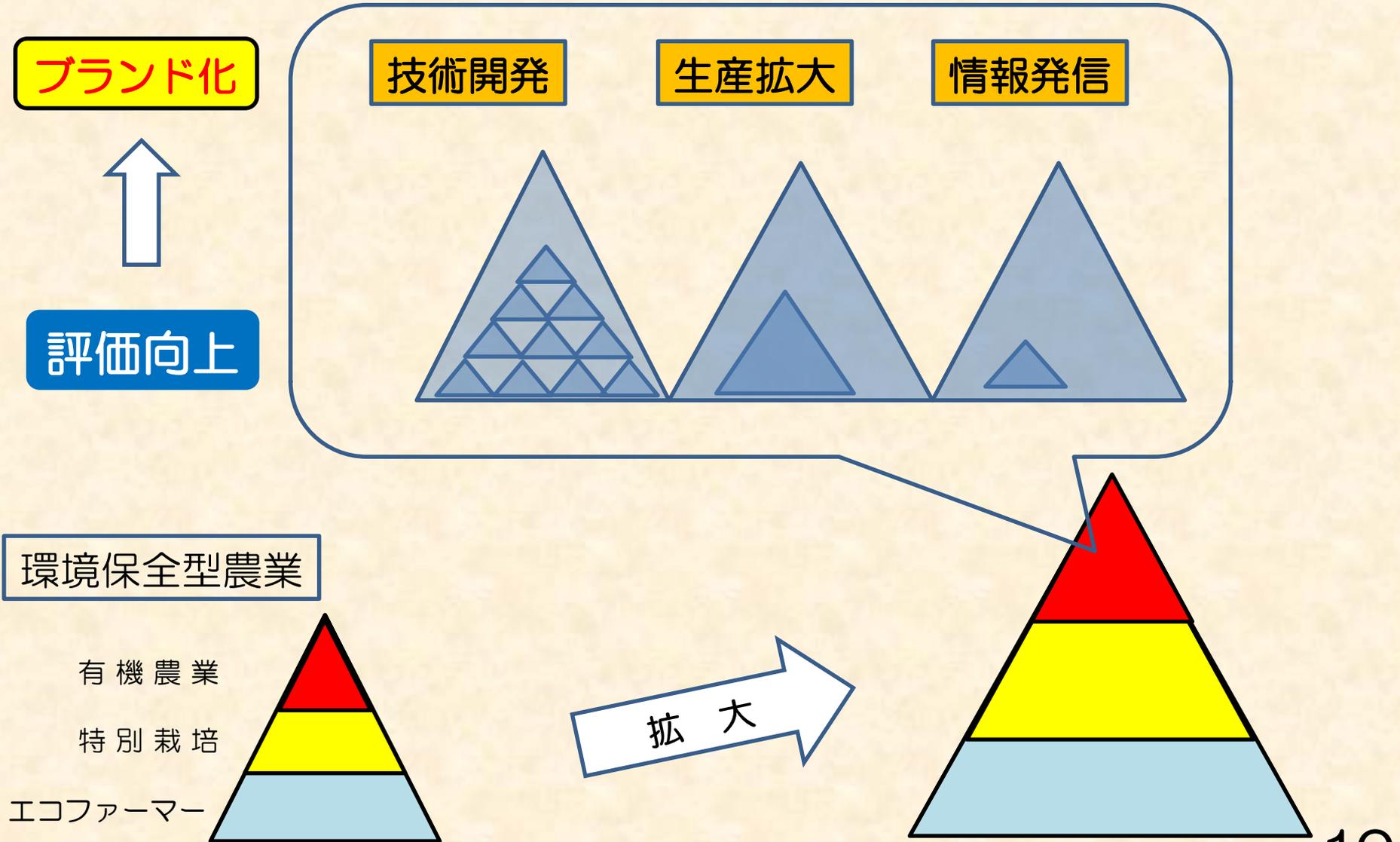


オーガニックフェスタ(2016)

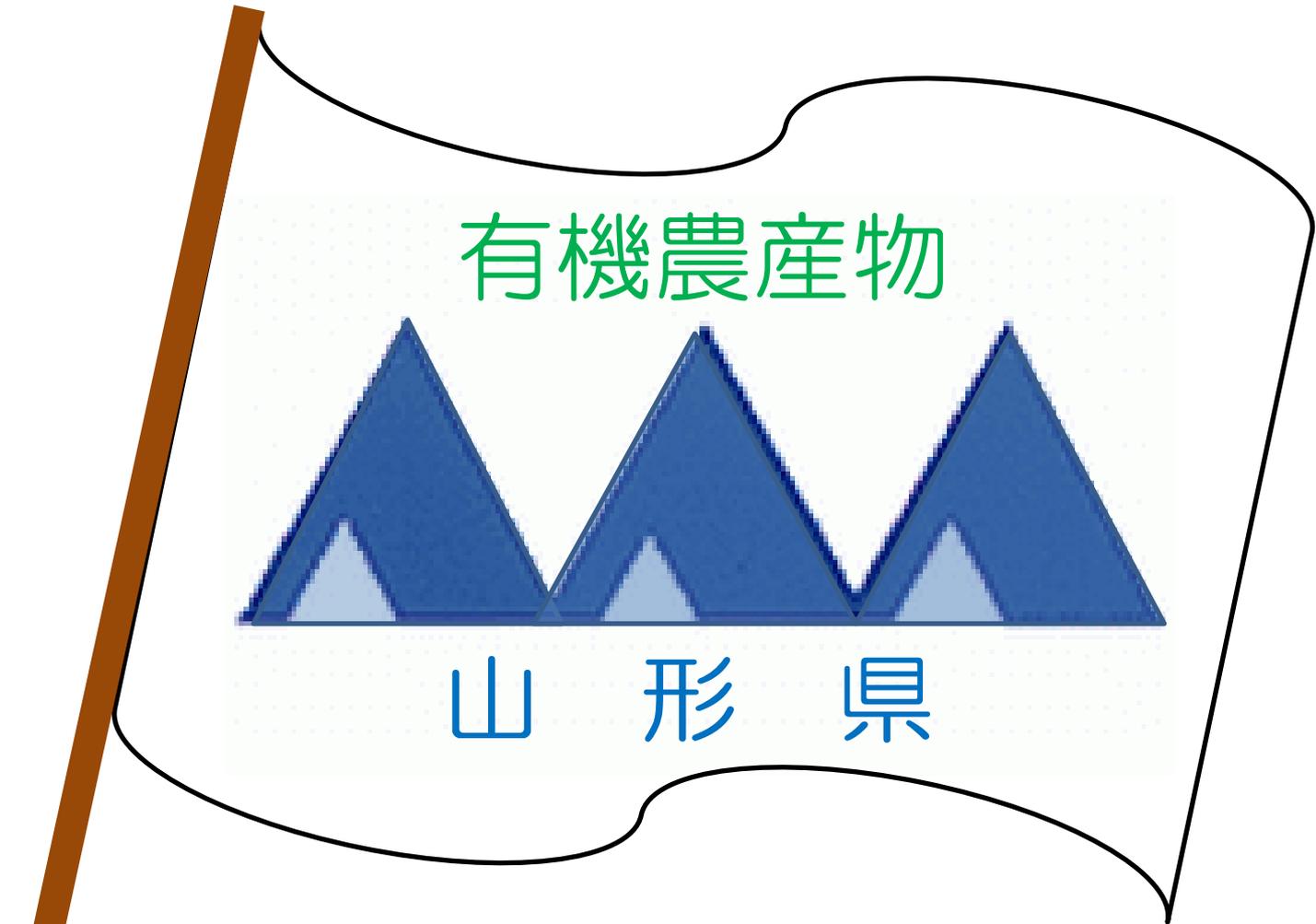
山形県における有機農業の今後の展開 ～ ブランド化に向けて～



山形県における有機農業の今後の展開 ～ ブランド化に向けて～



山形県における有機農業の今後の展開 ～ ブランド化に向けて～



有機農産物といえば「山形県」